

地域に密着した文化活動

ろっかてい
～ 六花亭のメセナ活動 ～

企業が資金を提供して文化や芸術活動を支援することを「企業メセナ」といいます。1990年が「メセナ元年」といわれますが、それはバブル景気によって企業のカネ余りの時代の象徴ともなりました。しかしバブル崩壊後は、メセナということば自体が聞かれなくなるほど、その取り組みは縮小のみちをたどることになりました。

北海道では、菓子メーカーの六花亭が景気に影響されずに、地域文化を応援するメセナ活動を続けてきました。

六花亭は札幌市真駒内で「六花文庫」を設立し、ここでは食文化の歴史や菓子作りの実用書など、身近な書物を閲覧できます。「食」に関する約7,000冊の書籍を保管し、館内にて自由に閲覧できます。六花文庫イベントとして「食の朗読会」「ブックバザール（古本市）」も開催しています。また、六花亭のウェブページでは「六花ファイル」として、日本中の新進気鋭のアーティストの作品を見ることができます。



札幌市真駒内にある「六花文庫」



真駒内六花亭ホール

真駒内六花亭ホールでは室内演奏会やニューイヤーコンサート、新春寄席を開催し、文化活動の推進に力を入れています。

さらに子ども達の豊かな感性あふれる詩の発表の場として『児童詩誌サイロ』（メセナアワード2011文化庁長官賞受賞）を発行してきました。これは1960年から発行されている児童詩誌で、50年継続しています。十勝のこどもたちの詩を届ける詩誌として毎月発行し、六花亭の菓子にも子ども達の誌が一部パッケージに印刷されるなど、多くの人に子ども達の作品を見てもらうような取り組みを続けています。

